

土器川における大規模水災害に適応した 対策検討の概要

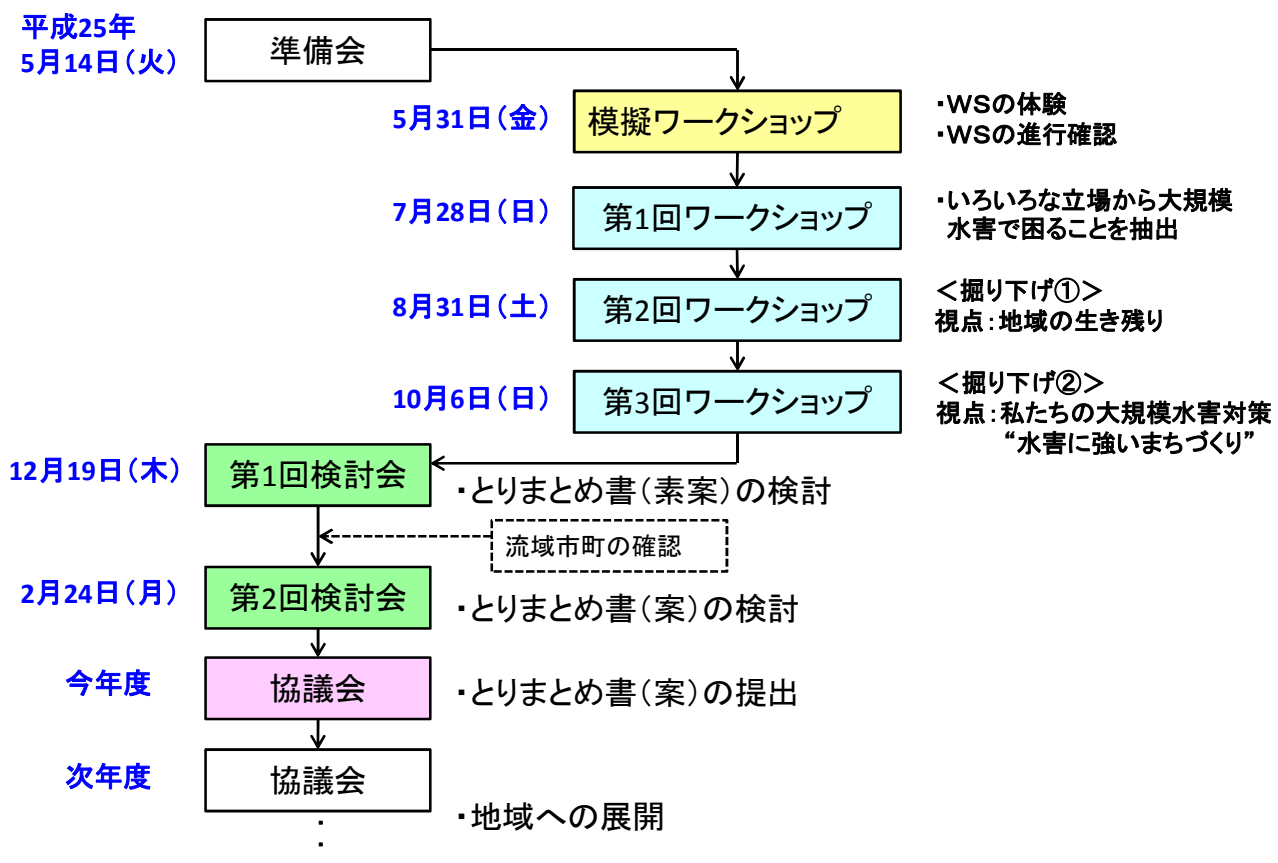
● 検討組織と役割(3つの組織)

- ワークショップ (事務局:国交省) : 検討のための意見集約・情報共有
- 検討会 (事務局:国交省) : 「とりまとめ書」の検討
- 協議会 (事務局:香川大学) : 連携・サポート
 - 大規模水害対策ワークショップ(ワークショップ)
 - 大規模水災害に適応した対策検討会(検討会)
 - 香川地域継続検討協議会(協議会)

● 本検討の対象(区域、災害要因)

- 土器川流域:国管理の区間(河口～常包橋上流)
- 検討対象の水害:**堤防の決壊に伴う大規模水害**
 - 土器川では大正元年に発生
 - 近年、他県で実際に発生
(H25年9月台風18号、H24年7月九州北部、
H16年7月新潟・福島、ほか)

大規模水災害に適応した対策検討の流れ

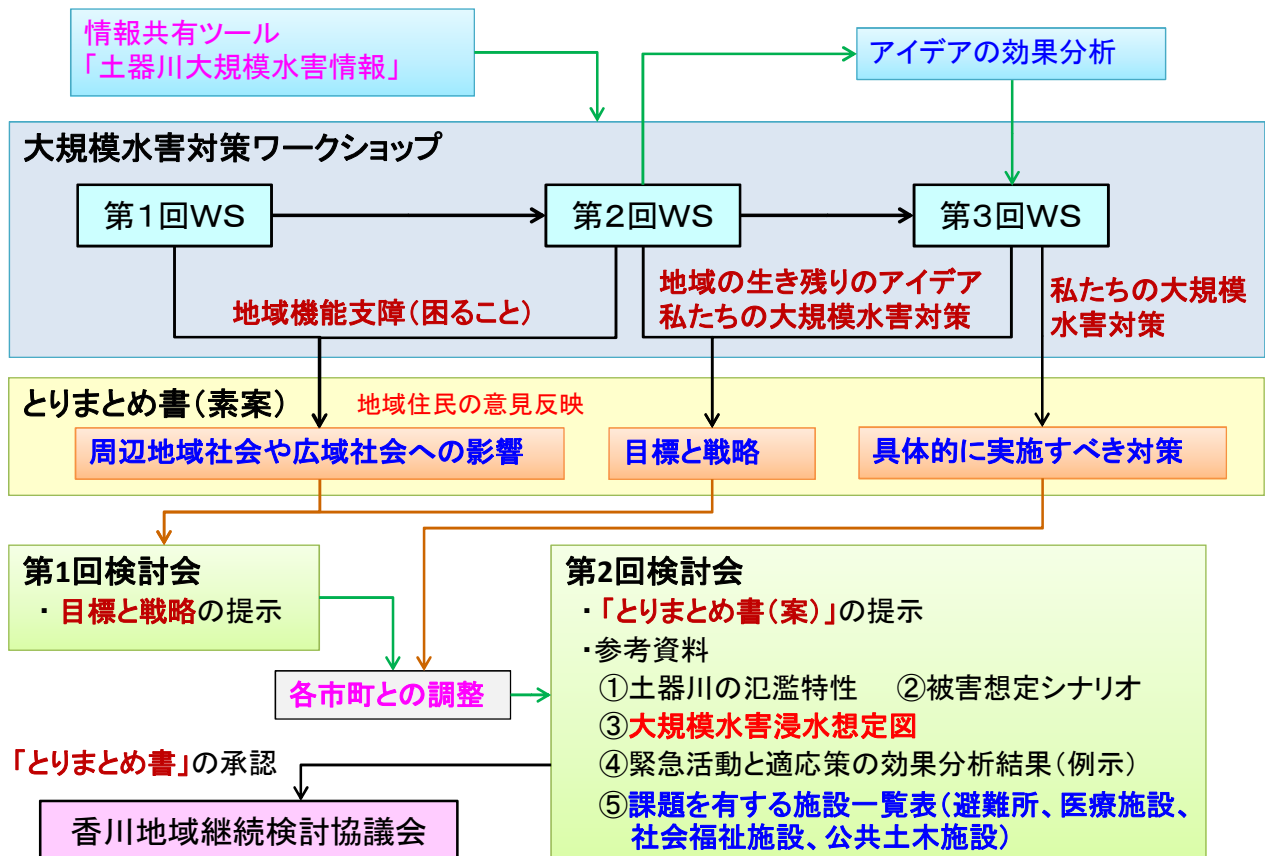


大規模水害対策ワークショップ検討の流れ

検討の場	情報共有(図化)	意見出し(WS)
第1回 WS	<ul style="list-style-type: none"> 被害想定(堤防決壊を想定した最大浸水深図等) 被害の内容(具体的に起こることを図化) 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな立場から被害の内容に応じて困ることを抽出
第2回 WS	<ul style="list-style-type: none"> 上記のWS検討を踏まえ、一般的な大規模災害が発生した際に行われる活動の内容(具体的に活動することを図化) 	<ul style="list-style-type: none"> 上記の困ることの掘り下げ(左記の活動によれば、困ることに対応できるのか) 地域の生き残りのアイデアを抽出
第3回 WS	<ul style="list-style-type: none"> 上記のWS検討を踏まえ、土器川の大規模水害に対するあらゆる情報の再共有(情報共有ツール) アイデアの効果分析結果(対策前と対策後の比較図) 	<ul style="list-style-type: none"> 私たちの地域の掘り下げ(“私たちの大規模水害対策”によって“水害に強いまち”に成り得るのか) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 自助 共助 公助 </div> × <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 10px;"> 災害への備え(事前対策) 被災直後(応急対策) その後(復旧・復興対策) </div>

『土器川における大規模水災害に適応した対策検討会とりまとめ書(案)』
香川地域継続検討協議会のDCPへ反映

「とりまとめ書」作成の流れ



私たちの大規模水害対策（地域住民のアイデア）意見集約表（第3回WS意見より）

	災害への備え（事前対策）	被災直後（応急対策）	その後、通常の生活に戻るまで（復旧・復興対策）
<p>自助 (自分自身がすること)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・避難行動の判断基準を決めておく ・避難所や避難ルートを決めておく ・防災ハザードマップや危険箇所を確認しておく ・水害に関する知識を身につけ、家族で共有する ・河川水位等の情報収集の手段を考えておく ・避難訓練への参加 ・食料の備蓄や防災用具等を準備しておく ・土のう等の準備や排水路の清掃により、浸水被害軽減に備える ・災害保険加入や貴重品の持ち出しによる生活再建に備える ・水害に強い家づくりを考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・人命を第一に考え、家族等の集団で避難する ・避難時に近隣住民に呼びかけて避難を促す ・2階等の高地へ避難する ・家族単位で安否確認を行い、家族間での連絡方法を確保する ・ラジオ等で情報収集に努める ・避難時の必要物資等を2階に移動・確保する 	<ul style="list-style-type: none"> ・教訓を活かし、今後の避難行動等に活かす ・ボランティア連携、助け合いによる復旧に努める ・地域や近隣の被害状況、安否確認を行う ・飲料水等の衛生面に気をつける ・健康状態、メンタルケアに気をつける ・ゴミ・ガレキの片付け、自宅の復旧に努める ・食料等の確保
<p>共助 (地域がすること)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水害に関する知識の周知、地域の避難マップの作成 ・自治会単位での連携・災害への備えを決めておく ・災害時要援護者の名簿整備、避難方法、連絡手段を考えておく ・自主防災組織の充実 ・避難訓練の実施 ・避難所の増設、高層マンションを一時避難所に活用 ・自治会で救命ボートを配備 ・土のう、排水ポンプの配備 ・地域単位での備蓄と配布 ・災害時の危険箇所の行政への情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣住民で連絡体制を確保し、安否確認を共有する ・近隣住民で災害時要援護者の避難を支援する ・近隣住民への避難の声かけ、避難の助け合い ・地域の防災文化を維持し、コミュニティで支援する ・自治会の無線機を活用し、水害情報を共有する ・救助活動の支援 ・水防活動の支援 ・自治会単位で食料確保、炊き出しの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会で地域被害状況を巡回して調べ、行政等へ情報を伝える ・自治会単位で要援護者等の安否を確認する ・日常生活に戻るまで助け合う ・地域内のゴミ等の片付け手伝いの助け合い ・復旧の共同作業の呼びかけ実施 ・避難所利用ルールを作り、物資の持ち寄り・配分 ・高齢者等の健康状態の把握、メンタルケア
<p>公助 (行政等に助けてほしいこと)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の過去の災害情報の調査 ・自主防災組織強化の支援（ルール作り等） ・河川監視体制強化、防災無線の拡充、情報伝達装置の保守点検 ・排水ポンプの拡充、排水計画作り、排水施設増設 ・ポンプ場の耐水化 ・水防活動機材の点検・整備 ・堤防強化、河道掘削等の河川整備推進 ・避難所の確保・整備及び道路嵩上げ整備（避難ルート確保） ・道路拡張 ・防災・避難訓練の支援 ・企業・団体との災害協定作り ・家屋耐水化の推進 ・簡易トイレの確保 ・非常食等の備蓄 ・救命ボートの配備 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難判断水位等の避難の目安の周知 ・防災組織本部の立ち上げ ・早期・正確な情報収集と発信 ・パトロール車等での声かけ ・要援護者の救助 ・連絡網の確保 ・不衛生箇所の消毒 ・ヘリコプター手配 ・排水機器の早期配置 ・危険箇所の道路通行止め処理・交通規制 ・ガレキ片付けによる道路確保 ・簡易トイレ設置、物資供給の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフライン・インフラの早期復旧 ・自衛隊、ボランティア派遣要請 ・被災地区の重点パトロール ・消毒（衛生面対応）、メンタルケア支援 ・ゴミ、ガレキ処理、重機の手配 ・緊急物資の配送、排水ポンプ手配 ・物資の確保・供給 ・復旧、防災予算の確保と対策実施